

H25 赤彩古墳の館春の特別開館を開催しました

～過去最多の来館者～

根尾谷の継体天皇伝説にちなみ、名古屋市博物館から、尾張の赤彩古墳「東禅寺1号墳」出土品、石室の真っ赤な石、尾張の群集墳東谷山古墳群（志段味古墳群）出土品、断夫山古墳出土埴輪を特別にお借りし、5月6日（祝月）まで展示しました。

合併後のGW特別開館の来館者としては、過去最高の306名の来館者が見学されました。



今回から、企画展の展示内容やテーマに関わるものを、ボランティアが児童生徒向けに創作紙芝居にし、上演しました。紙芝居の中の絵も、紙芝居の木枠も、すべてボランティアの手作りの紙芝居です。今回は根尾谷の継体天皇伝説と船来山赤彩古墳とをつなぐお話を創作しました。来館者からは、親しみが持てとても良いという感想をいただきました。



親子歴史体験教室では、遊歩道の古墳を探検し、ウォークラリーを行いました。新緑の草花を持ち帰り、透明な蠟でキャンドルにしました。このほか、船来山古墳群から出土した鏡やガラス玉を手作りしました。親子で本巣市の歴史に触れていただき、五感を使って体感いただきました。